

各診療科推奨モデルコース

乳腺・甲状腺・内分泌外科専門医養成コース

モデルコースの研修順は一例で、実際の研修順は異なる場合があります。

必修内科

必修救急

選択必修

選択

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
乳腺・甲状腺外科 (選択1)			放射線診断又は病理 (選択2)			救急			内科			乳腺・甲状腺外科 (選必1)		小児または小児外科 (選必2)		麻酔科 (選必3)		放射線診断又は病理 (必修内科)			外科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)		

(コメント)

乳腺専門医、内分泌・甲状腺外科専門医を目指すプログラムである。院内では専門である乳腺甲状腺内分泌外科で研修し、さらに将来必要となる放射線診断部や病理で研修することを推奨する。

これは必修の内科6か月のうち半分をこの放射線、病理にあてることが可能である。

院外研修では広く一般外科の診療をおこなっているところで外科専門医に必要な症例の経験を目指す。